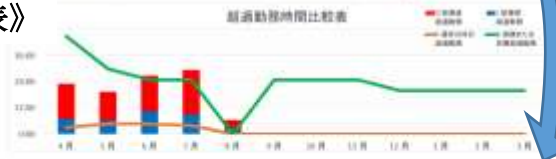


『出退校簿でためしてみる
 在校時間のグラフ化による自己管理』



《集計表》



個人用ファイルのタブ『勤務時間集計』を開いて、勤務時間集計表の「E指標または目標超過勤務」の赤枠に、各自の目標時間を入力すると・・・

グラフ

	D 就業後超過勤務	E 指標または目標超過勤務	F 週休日休日超過勤務
6:05	7:00	16:05	45:00
4:05	6:20	13:00	30:00
1:30	10:30	16:20	25:00
3:30	9:10	20:00	25:00
6:30	2:50	0:00	0:00
0:00	0:00	0:00	25:00
0:00	0:00	0:00	25:00
0:00	0:00	0:00	25:00
0:00	0:00	0:00	20:00
0:00	0:00	0:00	20:00
0:00	0:00	0:00	20:00
0:00	0:00	0:00	20:00
0:00	0:00	0:00	20:00
0:00	0:00	0:00	20:00
0:00	0:00	0:00	20:00

《入力表》

年月日	週休日	就業後超過勤務	就業前超過勤務	週休日休日超過勤務	指標または目標超過勤務
4月1日(月)		8:00	16:45	8:00	0:15

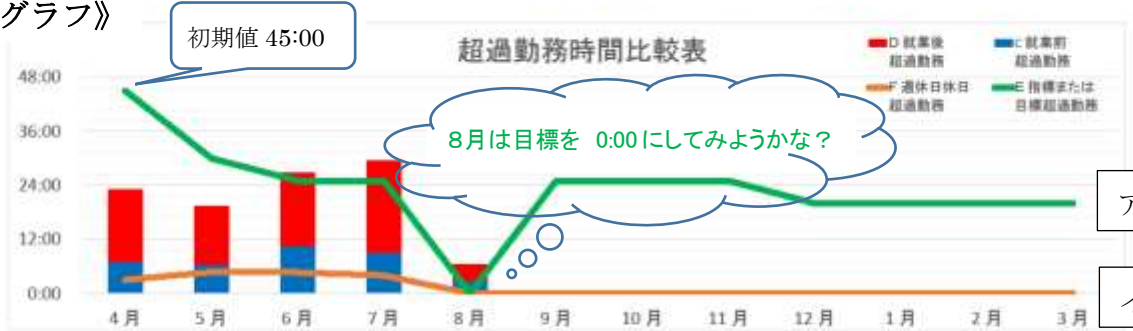
20190901 グラフ

今月の超過勤務時間: 26:05
 新潟市の指標超過勤務時間: 45:00 以下
 新潟市の指標と比べて、18時間55分少ないようです。

今月の超過勤務時間: 24:05
 自己目標超過勤務時間: 30:00 以下
 自己目標と比べて、5時間55分少ないようです。

各月の入力表の上部に、「自己目標と比べて、○時間○分少ない(多い)ようです。」と表示されます。初期値として 45:00 が入力されていますので、最初は「新潟市の指標と比べて○時間○分少ない(多い)ようです。」と表示されます。各自の目標時間を入力すると、自己目標との比較ができます。

《グラフ》



『超過勤務時間比較表』では、勤務時間集計表の「E指標または目標超過勤務」の赤枠に入力した各自の目標時間が緑色の折れ線グラフ(上の「ア」)で表示されます。設定は随時変更できるので、いろいろためしてみてください。なお、茶色の折れ線グラフ(上の「イ」)は週休日休日の勤務時間です。
 (例) 前の月よりも少なくなるように設定しようかな?
 8月は 0:00 にしてみようかな?